

平成 24 年度第 1 回 上越市（高田地区・直江津地区）中心市街地活性化協議会 議 事 要 旨

日 時： 平成 24 年 5 月 30 日(水) 13:30～14:40

場 所： 上越商工会議所 3 階大会議室

出席者： 委員 37 名（委員総数 54 名）

委員外 7 名（オブザーバー 3 名、服部アドバイザー、事業関係者等 3 名）

事務局 6 名

議事要旨： 下記のとおり

1. 協議会会長あいさつ

- 本日の開催趣旨は、①昨年度（平成 23 年度）事業報告及び決算報告の審議・承認②今年度（平成 24 年度）事業計画案及び予算案の審議・承認③役員改選の審議・承認④大和跡地拠点施設整備事業の補助金申請に係る意見協議—である。
- (株)イレブンビルが実施する大和跡地拠点施設整備事業については、前回 2 月の当協議会において、経済産業省の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金を申請することを全会一致で了承した。予定どおり本年 2 月に申請したが、残念ながら不採択となった。イレブンビルとしては、同補助金の 2 次募集（本年 6 月 7 日まで受付）に申請したい意向。協議会としても同事業の実現に向け協力したい。なお、申請に際し、本日の議事録を付す必要がある。各委員から忌憚ないご意見を賜りたい。

2. 交代構成員の紹介

- 事務局から、資料 1「協議会構成員表」に沿って紹介。対象委員は全 10 名。

3. 議題

（1）平成 23 年度事業活動報告について

- 事務局から、資料 2「平成 23 年度事業活動報告」に沿って報告。
- 「直江津拠点活用検討事業」について、上越市中心市街地活性化推進室が報告。
- 審議の結果、特に異議なく本件承認。

（2）平成 23 年度収支決算報告について

- 事務局から資料 3「平成 23 年度事業決算報告」に沿って報告。
- 次項の監査報告の後、審議の結果、特に異議なく本件承認。

(3) 監査報告について

- 会計監事より、平成 23 年度の収支決算について監査の結果、適正に処理され、且つ正確であるものと認める旨報告。

(4) 役員改選について

- 議長の提案により事務局から、継続中の中心市街地活性化事業が多く、現体制を基本として今後も検討する必要があるとして、次のとおり役員改選案を提示。
 - ・ 会長は、上越商工会議所副会頭、佐藤様の再任
 - ・ 副会長 2 名は、従来どおり高田・直江津両地区の商店街代表者から選出するものとし、上越商工会議所小売商業部会の部会長でもある本町 3 丁目商店街振興組合理事長、大嶋様の再任と直江津商店連合会の会長、重原様の新任
 - ・ 監事 2 名は、従来どおり同会議所の青年部及び女性会から選出するものとし、青年部会長、清水様の新任と女性会副会長、熊田様の再任。
 - ・ 運営委員は、資料 1「協議会構成員表」の運営委員会欄記載の全 18 名。
- 審議の結果、特に異議なく事務局案どおりとして選任。

(5) 平成 24 年度事業計画(案)について

- 事務局から、資料 4「平成 24 年度事業活動計画 (案)」に沿って説明。
- 審議の結果、特に異議なく本件承認。

(6) 平成 24 年度収支予算(案)について

- 事務局から、資料 5「平成 24 年度収支予算 (案)」に沿って説明。
- 審議の結果、特に異議なく本件承認。

(7) 大和跡地拠点施設整備事業の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業補助金（以下、戦略補助金）申請について

- 事業者の(株)イレブンビルから、資料 6「大和跡地拠点施設整備事業の特定民間中心市街地活性化事業計画（以下、特民計画）」に沿って説明。
 - ・ 解体工事について、本年 5 月 31 日完了の見通し。
 - ・ 特民計画について、本年 4 月 9 日付で経済産業省が認定。
 - ・ 戦略補助金 1 次申請は不採択。計画を一部見直し、2 次募集に申請。
 - ・ 1 次の不採択理由は主に、事業体制の問題、施設コンセプトと商店街への波及効果の問題、財務的な問題——の 3 点であり、再検討のうえそれらを解決した形で今回申請。採択の後、建築工事に着手し今年度内の開業を目指す。
 - ・ 従前計画からの主な変更点は、次のとおり。
 - 延床面積の減少。従前約 2,040 m²→変更後約 2,012 m²、38 m²減。
 - ドラッグストア部分の面積拡大に伴う店舗面積の増加。同 1,444 m²→同 1,460 m²、16 m²増。

- 店舗面積の増加に伴う広場面積の減少。同 457 m²→同 284 m²、173 m²減。
- 建設費見直しによる事業費の縮減。同 6.3 億円→同 6.1 億円、0.2 億円減。
- ・申請に係るスケジュールは、次のとおり。
 - 申請受付：6 月 7 日まで。
 - 事前審査：6 月 15 日から 25 日まで（予定）
 - 国当局からの質問ならびに回答：6 月 26 日から 29 日まで（予定）
 - 審査会：7 月上旬（予定）
 - 採択：7 月中旬以降（予定）
- 服部アドバイザーから、2 次募集の申請にあたって、国等関係機関の意見なども踏まえて、事業者にアドバイスした内容について、以下のとおり報告。
 - ・商店街が 2 核をどう活用して商店街の再生を図るのが前回問われた部分。個々でなく商店街として一体で取り組む体制が必要になる。
 - ・旧高田共同ビル再生事業のテナントとどう連携して街を活性化するかも前回、問われた部分。同再生事業に入居予定の生鮮食品店を補完するべく、特にドラッグストアの品揃えを強化し、日用品からハム・ソーセージや豆腐などの加工食品まで揃えることで、地域住民のニーズに十分お応えする必要がある。総合スーパーの機能を同再生事業と大和跡地の 2 核で果たす形が望ましい。
 - ・国が大和跡地に求める商店街のマネジメントについては、商店街などの出資で設立した高田本町まちづくり(株)が今年度から実施するタウンマネジメント事業に対して、イレブンビルも事業成果をベースに企画・提案するなど積極的に参画する形で取り組んでほしい。
 - ・上越市の顔が見えない問題については、上越市ほど中心市街地活性化に対し熱心に取り組む自治体は珍しく、国側に理解頂けるよう、これまでの取組みを申請書にしっかり反映させる必要がある。
- 本町商店街代表として、当協議会副会長の大嶋様が以下のとおりコメント。
 - ・地元商店街としても 1 モールとしての役割と責任がある。イレブンビルや高田まちづくり(株) (旧高田共同ビル再生事業の事業主体) と一緒になって、商店街活性化に取り組んでいきたい。
 - ・商店街では現在、商店街のランドデザインを策定中。その実現に向けた具体策についても、イレブンビルや高田まちづくりと連携し一体となって進めていきたい。
 - ・活性化の基本戦略である「2 核 1 モールの再構築」を実現し、賑わいを取り戻したい。そのためにも、大和跡地の事業に対して、地域の皆様からご理解ご協力を賜りたい。
- 以上を受け、戦略補助金 2 次募集に本日の事業者説明内容をもって申請することについて、当協議会として承認の是非を委員に諮ったところ、全会一致で賛成の承認となり、原案どおり申請するものとなった。

(8) 各プロジェクトの進捗状況等の報告について

①本町 5 丁目第一種市街地再開発事業の進捗状況報告

- 同再開発事業の実施主体、高田まちづくり(株) から、進捗状況を報告。

- ・大和跡地の事業や商店街と連携・協力して街の賑わい創出を図っていききたい。
- ・来年2月15日の引渡し、同年3月中旬の開業を目指し、建設工事や開業準備作業を鋭意進めている状況。
- ・商業フロアの入居テナントについては、うち2社と契約済み、残りも6月内をメドに条件等を協議中。住民の要望が強く、当初から計画している「生鮮三品」の店舗は入居見通し。
- ・マンションフロアについては、既に完売しており、解約も発生していない。
- ・建設するビルの愛称を募集中。本日現在330名ほどの応募状況。6月6日に受付を締切り、所定の手続きのうへ、6月内に愛称を決定する予定。

②旧高田中劇会館跡地整備事業の進捗状況報告

- ウェルエイジマネジメント(株)から、進捗状況を報告。
 - ・従来から事業規模を縮小する方向で、計画を見直している。
 - ・大和跡地の事業実施後の状況を見て、事業着手を判断したい考え。
 - ・行政との協議を始めて4年が経過。当時にあった事業に対する話題性などが経年により希薄化しているため、現状の環境にどのように合わせていくかが課題。

③その他

- 直江津地区の中心市街地活性化に向けた今年度事業「直江津まちなかアテンダント事業」について、事務局から、採用する担当者の決定を報告するとともに、担当者（小松）を紹介。

以 上